



平成29年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ
コード番号 3174 URL <http://www.happiness-d.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田 泰夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 追川 正義 (TEL) 03-3562-7521
定時株主総会開催予定日 平成29年11月29日 配当支払開始予定日 平成29年11月30日
有価証券報告書提出予定日 平成29年11月29日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期の業績（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期	19,144	12.4	525	247.2	497	321.7	212	—
28年8月期	17,028	0.3	151	△28.2	118	△30.9	△214	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
29年8月期	84.42	81.38	10.7	5.2	2.7
28年8月期	△84.78	—	△10.5	1.2	0.8

(参考) 持分法投資損益 29年8月期 一百万円 28年8月期 一百万円

(注) 平成28年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期	9,664	2,107	21.2	822.67
28年8月期	9,296	1,950	20.4	751.64

(参考) 自己資本 29年8月期 2,050百万円 28年8月期 1,903百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
29年8月期	790	△55	△586	2,701
28年8月期	364	10	△275	2,553

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
28年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00	百万円 37	% —	% 1.8
29年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00	37	17.7	1.8
30年8月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00		12.0	

3. 平成30年8月期の業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,704	5.9	464	13.7	454	15.2	237	5.8	95.08
通期	20,271	5.8	601	14.4	581	16.9	311	46.6	124.77

(注) 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成29年8月31日現在の発行済株式数(自己株式を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期	2,532,400株	28年8月期	2,532,400株
② 期末自己株式数	29年8月期	40,000株	28年8月期	－株
③ 期中平均株式数	29年8月期	2,516,214株	28年8月期	2,532,400株

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記の予想に関する事項は、[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11
(持分法損益等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢の改善等により回復基調で推移したものの、個人消費は依然として回復力は鈍く、軟調な推移が続いております。

このような状況下、当社は、厳選した新規出店と既存店対策の強化、企業イメージの向上と自社商品ブランドの確立、EC（ネット通販）事業の拡大を当事業年度の重点課題として取り組んでまいりました。また、人事面においては、従業員の待遇改善策を実施し、モチベーションアップを図るとともに、人事制度全般にわたる見直しを行いました。

販売活動の施策といたしましては、宝飾催事・アウトレットセール等の実施に加えて、7店舗の新規出店にあわせたオープン協賛セールや改装・移転店舗における特別セール等の販売活動を実施し、新規顧客の開拓と固定客づくりに努めてまいりました。

EC事業につきましては、市場規模の大きい大手通販サイト内の店舗強化を図るとともに、商品の充実を図り、広告宣伝及びメールマガジンの配信等に継続して取り組みました。また、重点課題とした買い上げ率の向上については、Webサイトの改善・改修を図るとともに、宝飾・時計部門の強化に努めました。

商品施策といたしましては、商品を手にとれる売り場を拡大させ、値ごろ感のある価格帯の商品や高粗率商品の拡充に努めるとともに、高額ブランド品の予約販売会の実施、新ブランドの導入、お買い得商品のセット販売や店舗演出の強化等を図ることで、売上高の向上と利益率の改善に努めてまいりました。

また、オリジナルブランド Happy Candle（ハッピーキャンドル）商品につきましては、シーズンの新作商品を投入するとともに、客層に合った女性ファッション誌への掲載とイベント出店を実施し、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等を通じたブランド認知を高める取り組みを強化することで、自社商品ブランドの確立に努めてまいりました。

商品部門別の売上の状況につきましては、宝飾品は催事等による販売強化に加え、人気商品の展開を強化したことで売上高 3,247,437千円（前事業年度末比10.6%増）、時計は予約販売会を中心に高額ブランド品の販売が好調だったことに加えて、時計コーナーの拡充を実施したことで売上高 5,603,782千円（同23.4%増）、バッグ・小物は手ごろな価格帯の商品に加えて、好調な高額ブランド品についても品揃えを強化したことで売上高 10,293,406千円（同7.7%増）となりました。

店舗展開といたしましては、9月に富士宮店（静岡県）、土浦店（茨城県）、11月に広島府中店（広島県）、12月に長久手店（愛知県）、3月に新小松店（石川県）、熊本店（熊本県）、4月に徳島店（徳島県）の計7店舗を新規出店いたしました。いずれも大型商業施設イオンモールへの出店であります。一方、不振店対策として、上尾店（埼玉県）、与野店（埼玉県）、和泉店（大阪府）、東員店（三重県）の計4店舗の閉店を実施いたしました。これらにより、当事業年度末の店舗数は69店舗となりました。

店舗改装につきましては、八幡東店、大和郡山店、おのだ店、高知店等について通常改装を実施、浜松店、泉南店、直方店について適正面積への変更と区画移転を伴う改装を実施、バルナ店、銀座店、久御山店、大曲店等については小規模改装を実施いたしました。

また、特別損失として、不振店舗5店舗の減損損失 100,355千円を計上したほか、店舗閉鎖・改装に伴う固定資産除却損 18,124千円及び閉店店舗の解約金 7,253千円等を計上いたしました。

以上の結果、当事業年度の売上高は 19,144,626千円（前事業年度比12.4%増）、営業利益は 525,347千円（同247.2%増）となりました。経常利益は 497,896千円（同321.7%増）、当期純利益は 212,437千円（前事業年度は当期純損失 214,704千円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は、8,010,233千円となり、前事業年度末と比較して339,626千円増加しております。これは主として、その他が38,213千円減少したものの、現金及び預金が147,864千円増加、売掛金が72,596千円増加、商品が127,731千円増加したことが要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は、1,654,400千円となり、前事業年度末と比較して28,301千円増加しております。これは主として、投資有価証券が34,764千円減少、繰延税金資産が28,849千円減少したものの、建物が59,718千円増加、工具、器具及び備品が12,242千円増加、長期預金が12,005千円増加、敷金及び保証金が20,984千円増加したことが要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は、3,935,365千円となり、前事業年度末と比較して377,129千円増加しております。これは主として、1年内返済予定の長期借入金73,744千円減少したものの、買掛金が139,348千円増加、未払金が105,438千円増加、未払法人税等が136,580千円増加、未払消費税等が43,575千円増加、賞与引当金が50,680千円増加したことが要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は、3,621,449千円となり、前事業年度末と比較して166,137千円減少しております。これは主として、資産除去債務が32,528千円増加したものの、長期借入金173,384千円減少、長期未払金が19,878千円減少したことが要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は、2,107,818千円となり、前事業年度末と比較して156,935千円増加しております。これは主として、利益剰余金が174,451千円増加したことが要因であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ147,860千円増加し、2,701,384千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は790,191千円(前事業年度は364,196千円の収入)となりました。これは、主として新規出店等に伴うたな卸資産の増加132,298千円、売上債権の増加77,228千円、法人税等の支払額44,639千円があった一方で、税引前当期純利益370,214千円、減価償却費219,504千円、仕入債務の増加122,744千円、減損損失100,355千円があったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は55,878千円(前事業年度は10,497千円の収入)となりました。これは、主として定期預金の払戻による収入50,000千円、投資有価証券の償還による収入50,000千円、子会社の清算による収入35,825千円の収入があった一方で、新規出店及び改装等に伴う有形固定資産の取得69,476千円、定期預金の預入による支出62,010千円、敷金及び保証金の差入44,741千円があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は586,452千円(前事業年度は275,110千円の支出)となりました。これは、長期借入れによる収入1,780,000千円があった一方で、長期借入金の返済2,027,128千円、長期未払金の支払250,054千円、配当金の支払37,969千円、自己株式の取得による支出35,791千円があったこと等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年8月期	平成26年8月期	平成27年8月期	平成28年8月期	平成29年8月期
自己資本比率(%)	23.8	24.4	23.3	20.4	21.2
時価ベースの自己資本比率(%)	28.8	23.9	22.7	17.4	27.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—	—	39.0	15.6	6.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	3.3	9.3	25.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

(注2) キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注3) 平成25年8月期および平成26年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、企業業績・雇用の改善が続く中で、景気回復基調が持続するものの、個人消費の回復は引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような環境において当社は、あらたに平成30年8月期を初年度とする中期3ヵ年計画を策定いたしました。新規出店を厳選化しつつ、オリジナルブランド商品を中心とした新業態店舗の開発に注力してまいります。また、従業員の働き方改革や社会貢献活動等を通じた企業イメージの向上に積極的に取り組むとともに、自社商品ブランド Happy Candle 及び新ブランド H&D (エイチアンドディ) の確立を図ってまいります。EC事業については、さらなる拡大を図るため、人員の増強及び広告宣伝の強化を実施してまいります。

さらに、有望な人材の若手登用を推進し、女性管理職比率の向上に努めるとともに、待遇面の改善等を通じて、中期経営計画達成へ向けての基盤づくりに取り組んでまいります。

通期の業績の見通しといたしましては、売上高 20,271百万円(当期比5.8%増)、営業利益 601百万円(当期比14.4%増)、経常利益 581百万円(当期比16.9%増)、当期純利益 311百万円(当期比46.6%増)を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当事業年度 (平成29年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,756,521	2,904,386
売掛金	852,087	924,684
商品	3,801,514	3,929,246
貯蔵品	112,185	116,753
前渡金	—	826
前払費用	63,067	55,588
繰延税金資産	44,139	75,871
その他	41,090	2,876
流動資産合計	7,670,607	8,010,233
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,552,252	1,627,942
減価償却累計額及び減損損失累計額	△951,557	△967,529
建物(純額)	600,694	660,413
構築物	388	388
減価償却累計額	△365	△368
構築物(純額)	22	19
工具、器具及び備品	1,438,570	1,440,198
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,190,674	△1,180,060
工具、器具及び備品(純額)	247,896	260,138
リース資産	43,709	43,709
減価償却累計額	△31,459	△36,896
リース資産(純額)	12,250	6,812
有形固定資産合計	860,863	927,384
無形固定資産		
ソフトウェア	23,658	19,138
リース資産	460	—
無形固定資産合計	24,118	19,138
投資その他の資産		
投資有価証券	84,781	50,017
出資金	50	50
長期貸付金	6,519	4,398
長期前払費用	1,484	863
敷金及び保証金	539,870	560,854
繰延税金資産	79,769	50,919
長期預金	29,004	41,010
その他	472	—
貸倒引当金	△836	△236
投資その他の資産合計	741,116	707,877
固定資産合計	1,626,098	1,654,400
資産合計	9,296,705	9,664,634

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当事業年度 (平成29年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	15,757	18,395
買掛金	815,910	955,258
電子記録債務	349,946	330,705
1年内返済予定の長期借入金	1,825,346	1,751,602
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	5,402	5,402
未払金	269,729	375,167
未払費用	110,518	124,811
未払法人税等	27,181	163,762
未払消費税等	19,019	62,595
前受金	28,473	23,842
預り金	11,235	7,319
賞与引当金	49,520	100,200
ポイント引当金	13,731	11,872
資産除去債務	6,327	4,326
その他	136	106
流動負債合計	3,558,236	3,935,365
固定負債		
長期借入金	3,127,742	2,954,358
リース債務	6,812	1,410
資産除去債務	151,160	183,688
長期未払金	501,872	481,993
固定負債合計	3,787,587	3,621,449
負債合計	7,345,823	7,556,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	325,397	325,397
資本剰余金		
資本準備金	302,397	302,397
その他資本剰余金	10,350	10,350
資本剰余金合計	312,747	312,747
利益剰余金		
利益準備金	1,670	1,670
その他利益剰余金		
別途積立金	255,403	255,403
繰越利益剰余金	1,016,857	1,191,309
利益剰余金合計	1,273,931	1,448,383
自己株式	—	△35,791
株主資本合計	1,912,076	2,050,736
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,621	△302
評価・換算差額等合計	△8,621	△302
新株予約権	47,428	57,384
純資産合計	1,950,882	2,107,818
負債純資産合計	9,296,705	9,664,634

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当事業年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
売上高	17,028,431	19,144,626
売上原価		
商品期首たな卸高	3,622,642	3,801,514
当期商品仕入高	13,144,517	14,702,905
合計	16,767,159	18,504,420
商品期末たな卸高	3,801,514	3,929,246
商品売上原価	12,965,645	14,575,174
売上総利益	4,062,786	4,569,452
販売費及び一般管理費	3,911,502	4,044,104
営業利益	151,283	525,347
営業外収益		
受取利息	1,387	235
受取配当金	484	654
業務受託料	1,334	1,090
受取保険金	1,671	1,294
為替差益	—	1,193
その他	2,723	2,114
営業外収益合計	7,602	6,582
営業外費用		
支払利息	39,065	31,136
社債利息	180	—
その他	1,597	2,897
営業外費用合計	40,843	34,034
経常利益	118,042	497,896
特別損失		
固定資産売却損	—	1,093
固定資産廃棄損	19,708	18,124
減損損失	254,028	100,355
店舗閉鎖損失	16,730	7,253
投資有価証券償還損	—	853
子会社清算損	32,005	—
特別損失合計	322,473	127,681
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△204,430	370,214
法人税、住民税及び事業税	53,466	164,331
法人税等調整額	△43,192	△6,553
法人税等合計	10,273	157,777
当期純利益又は当期純損失(△)	△214,704	212,437

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
						別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	325,397	302,397	10,350	312,747	1,670	255,403	1,269,548	1,526,621	-	2,164,766
当期変動額										
剰余金の配当							△37,986	△37,986		△37,986
当期純利益又は 当期純損失(△)							△214,704	△214,704		△214,704
自己株式の取得										
新株予約権の発行										
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	△252,690	△252,690	-	△252,690
当期末残高	325,397	302,397	10,350	312,747	1,670	255,403	1,016,857	1,273,931	-	1,912,076

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
当期首残高	△205	△205	36,228	2,200,790
当期変動額				
剰余金の配当				△37,986
当期純利益又は 当期純損失(△)				△214,704
自己株式の取得				
新株予約権の発行			11,199	11,199
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△8,416	△8,416		△8,416
当期変動額合計	△8,416	△8,416	11,199	△249,907
当期末残高	△8,621	△8,621	47,428	1,950,882

当事業年度(自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
						別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	325,397	302,397	10,350	312,747	1,670	255,403	1,016,857	1,273,931	—	1,912,076
当期変動額										
剰余金の配当							△37,986	△37,986		△37,986
当期純利益又は 当期純損失(△)							212,437	212,437		212,437
自己株式の取得									△35,791	△35,791
新株予約権の発行										
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)										
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	174,451	174,451	△35,791	138,660
当期末残高	325,397	302,397	10,350	312,747	1,670	255,403	1,191,309	1,448,383	△35,791	2,050,736

	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計		
当期首残高	△8,621	△8,621	47,428	1,950,882
当期変動額				
剰余金の配当				△37,986
当期純利益又は 当期純損失(△)				212,437
自己株式の取得				△35,791
新株予約権の発行			9,955	9,955
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	8,319	8,319		8,319
当期変動額合計	8,319	8,319	9,955	156,935
当期末残高	△302	△302	57,384	2,107,818

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当事業年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△204,430	370,214
減価償却費	286,859	219,504
減損損失	254,028	100,355
店舗閉鎖損失	16,730	7,253
株式報酬費用	11,199	9,955
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△600	△600
子会社清算損益(△は益)	32,005	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,400	50,680
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,115	△1,858
受取利息及び受取配当金	△1,871	△890
支払利息	39,245	31,136
為替差損益(△は益)	—	△1,193
固定資産廃棄損	19,708	18,124
売上債権の増減額(△は増加)	△37,147	△77,228
たな卸資産の増減額(△は増加)	△182,360	△132,298
仕入債務の増減額(△は減少)	115,806	122,744
未払金の増減額(△は減少)	42,143	56,750
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,688	43,575
その他	34,279	48,120
小計	426,999	864,347
利息及び配当金の受取額	2,353	1,063
利息の支払額	△38,772	△30,579
法人税等の還付額	20,062	—
法人税等の支払額	△46,446	△44,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	364,196	790,191
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,014	△62,010
定期預金の払戻による収入	90,000	50,000
有形固定資産の取得による支出	△63,647	△69,476
無形固定資産の取得による支出	△14,486	△3,168
投資有価証券の取得による支出	△3,979	△4,121
投資有価証券の償還による収入	—	50,000
敷金及び保証金の差入による支出	△39,925	△44,741
敷金及び保証金の回収による収入	14,702	25,645
貸付金の回収による収入	50,000	—
子会社の清算による収入	—	35,825
その他	△10,151	△33,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,497	△55,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,900,000	1,780,000
長期借入金の返済による支出	△1,909,615	△2,027,128
社債の償還による支出	△20,000	△10,000
長期未払金の返済による支出	△191,209	△250,054
リース債務の返済による支出	△16,316	△5,402
配当金の支払額	△37,968	△37,969
自己株式の取得による支出	—	△35,791
その他	—	△107
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,110	△586,452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	99,584	147,860
現金及び現金同等物の期首残高	2,453,940	2,553,524
現金及び現金同等物の期末残高	2,553,524	2,701,384

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社はインポートブランドを中心とした宝飾品、時計及びバッグ・小物等の小売業という単一セグメントであるため記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当事業年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
1株当たり純資産額	751円64銭	822円67銭
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△84円78銭	84円42銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	81円38銭

(注) 1 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成27年9月1日 至 平成28年8月31日)	当事業年度 (自 平成28年9月1日 至 平成29年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△214,704	212,437
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	△214,704	212,437
普通株式の期中平均株式数(株)	2,532,400	2,516,214
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	93,958
(うち新株予約権)(株)	—	(93,958)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当事業年度 (平成29年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,950,882	2,107,818
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	47,428	57,384
(うち新株予約権(千円))	(47,428)	(57,384)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,903,454	2,050,434
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,532,400	2,492,400

(重要な後発事象)

該当事項はありません。